

卒業生地域実践活動報告会

地域と連携した地消地産事業アイテムの事業化検証

活動メンバー

リーダー: 加藤秀美(2011年度5期生)

メンバー: 鈴木和人(2015年度10期生)

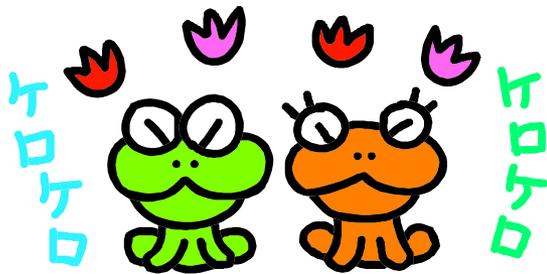
2024年3月10日
額田バイオマス活用検討会

環境塾5期生テーマ紹介

2030年

自然と共生したライフスタイル

～あいち **ろかっぴー** の導入～



2011年12月10日

あいち環境塾5期生

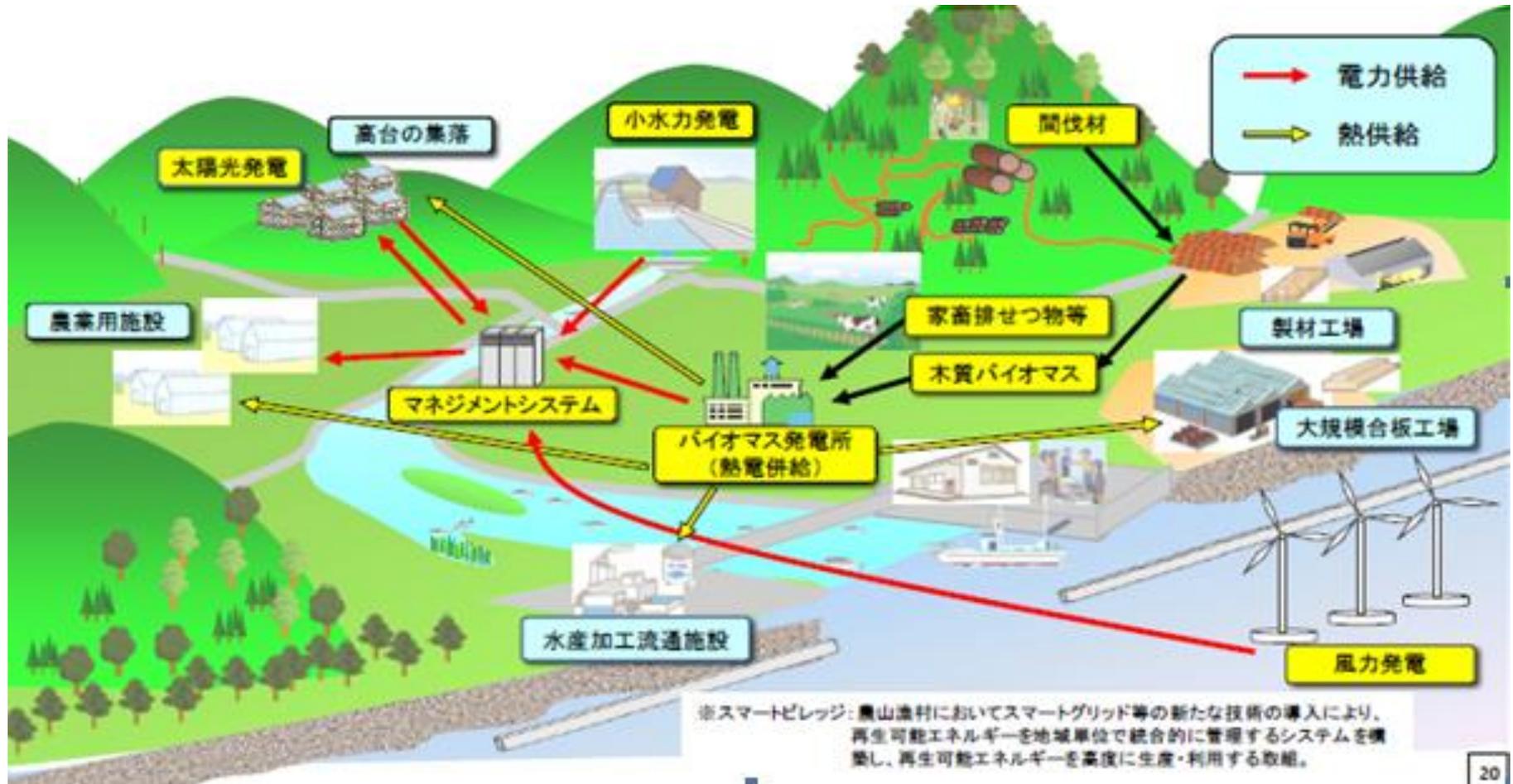
ライフスタイルチーム

加藤・小林・今津・木村

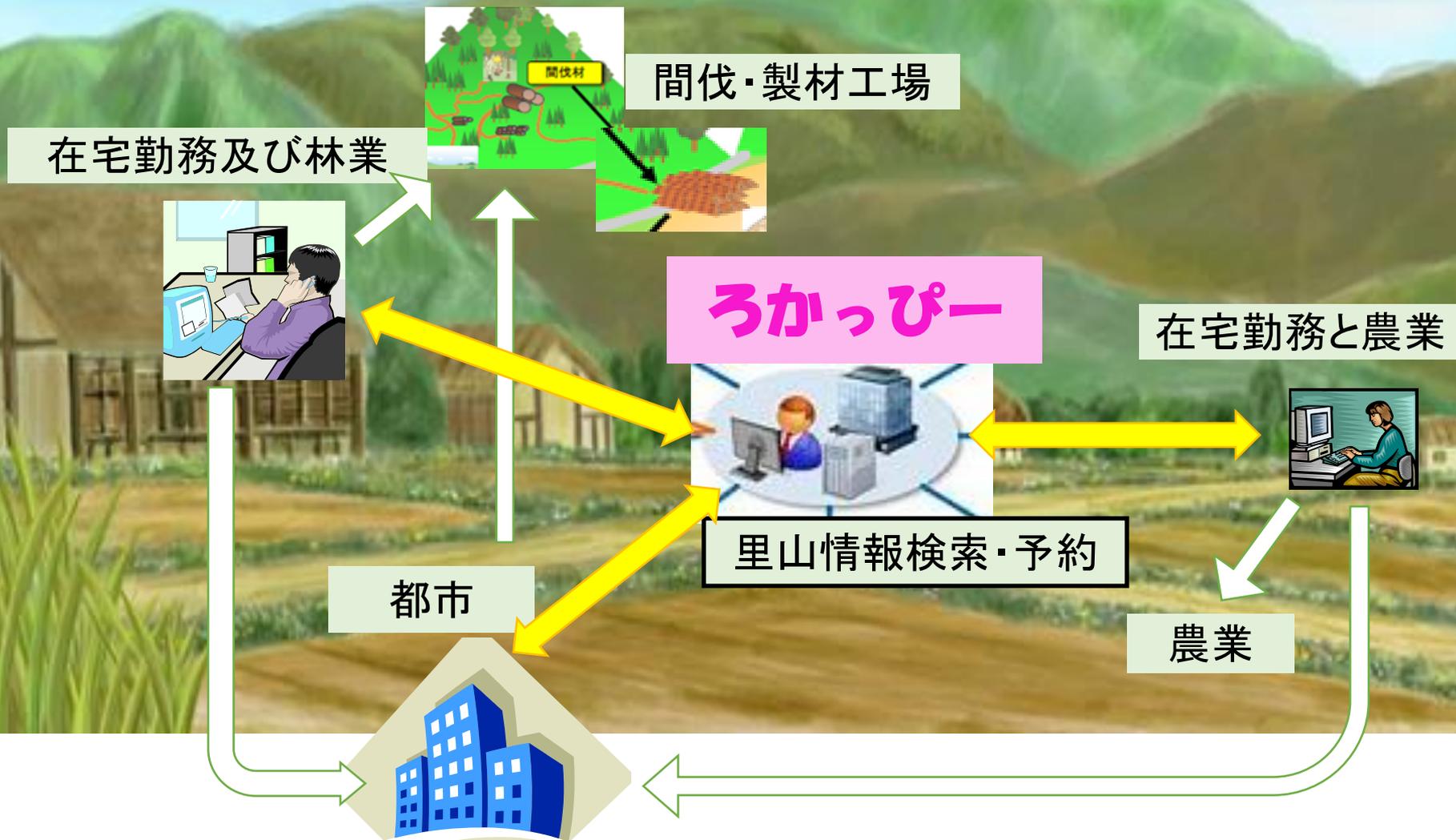
ろかっぴーとは？

愛知県の地域（ローカル）が
ハッピーになるため
コンセプトです。

2030年の社会 スマートビレッジ(施設のみ)



ろかっぴー 導入後の 2030年のライフスタイル



額田バイオマス活用検討会は

ろかっぴー

を意識して設立された

中間支援組織です

額田バイオマス活用検討会の紹介

【設立趣旨・目的】

福島原発事故の体験を踏まえ、現在の日本の電力事情を考えた結果、再生可能エネルギーによる発電所建設の為に検討を行う市民団体として2012年7月28日に設立されました。再生可能エネルギーとして額田の山のスギ・ヒノキなどの木質バイオマスを燃料として利用するバイオマス火力発電所の建設により森林再生、地域振興、循環型社会の構築を目指すことを目的としています

活動場所：夏山町ウルシガイツ



活動内容(規約より)

- バイオマス有効活用に向けた調査・検討
- 額田木の駅PJへ参加
- 山ジム(林業作業・間伐体験)による間伐
- 木の搬出方法の検討や活性化を図る活動
- 木の循環及び木材のカスケード利用を促す活動(竹及び木材の有効活用⇒燃料化など)
- 社会教育・啓発の推進を図る活動
- バイオマス講演会や木質バイオマス製作体験
- 森林振興を基本としたスタンスでの「まちづくり」活動

地域実践活動報告

●テーマ

地域と連携した

地消地産事業アイテムの事業化検証

事業化に向けて解決したい課題

森林資源の利活用を考えた事業化検討を具体的テーマで検証する

- ①自然エネルギーアウトドアのイベント化
- ②額田ヒノキ精油・・・「額田の森の香り」として事業化
- ③シイタケ栽培を可能にする
- ④間伐材の市場出荷・・・現在は木の駅PJへチップ材として出荷・・・市場の条件は??

R5年度事業化検証アイテム

1. 自然エネルギーを活用したアウトドアイベント
2. スギ・ヒノキ精油体験
精油の活用方法・事業化について意見・アイデア募集
 - 1) 精油体験
 - 2) 額田のヒノキ精油を考える会開催
 - 3) ～地消地産を実現する～額田ヒノキ精油を考える
ワークショップ3回開催
3. シイタケ栽培で収穫祭
4. 間伐材の出荷 ・・重機利用で大量出荷で分かること
5. 森林クレジット創出・・・伐採面積が5年間で30haが必要条件であることが分かり断念

事業① ALL自然エネルギーアウトドアー

- ・日時 : 2023 9/17(日)
- ・場所 : 夏山町ウルシガイツ森林間伐跡地と沢
- ・参加者 : 35人

薪ボイラと水車発電



参加者の皆さん



薪ボイラ改造ロケットストーブで 焼きそばと足湯



一斗缶ロケットストーブ
で湯を沸かす



事業②スギ・ヒノキ精油体験

精油体験では以下3つの企画・検討を行った

1) 体験会2回

1回目: 7/9 自然エネルギー製作体験

2回目: 9/17 ALL 自然エネルギーアウトドアー

2) 8/5 ヒノキ精油事業化を考える勉強会

3) ~地消地産を実現する~ 額田ヒノキ精油を考えるワークショップ3回

・・・12/16 1/20 2/17

4) メンバーである(株)鈴六の鈴木社長様からは精油商品化アイデア検討依頼をして進めた

事業②ー1) 自然エネルギー製作体験

- ・日時 : 2023 7/9(日)
- ・場所 : 藤川学区市民ホーム
- ・参加者 : 25人

一斗缶ロケットストーブ挑戦中



精油について色々



参加者の皆さん



2回目……精油体験

9/17 ALL 自然エネルギーアウトドアー

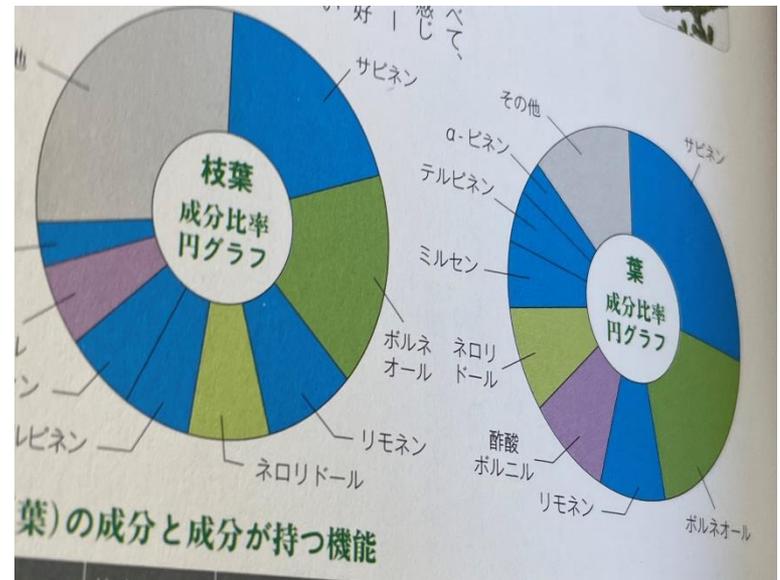


2) ヒノキ精油事業化を考える勉強会

- ・日時：8/5(日) 10時～12時
- ・場所：夏山町黒屋様事務所2階
- ・参加者：12人

●結果 匂い成分(芳香分子)は「木」「枝葉」で異なる・匂いや香りが違えば成分が異なる
⇒ ①匂い成分分析②検証実験 ③～地消地産実現に向けた～額田ヒノキ精油を考える
ワークショップ3回

森の香りを科学する機関誌より



～森林資源の利活用を考え、地消地産を実現する～
額田ヒノキ精油考えるワークショップ 3回でまとめ

日時: 1回目: 12/16(日) ・2回目: 1/20(日)

・3回目: 2/17(日) 13時～15時

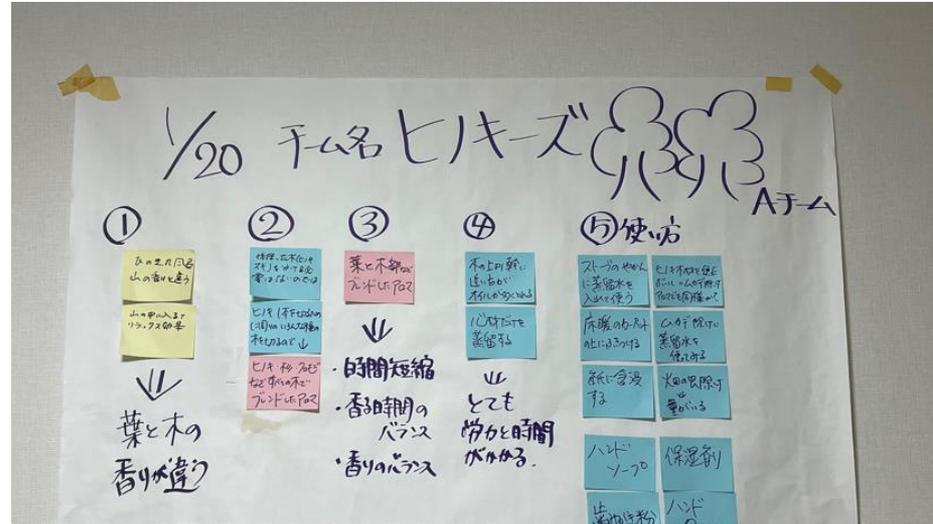
場所: むらさきかん(東部地域交流センター)

- ・ファシリテータ: AKJ環境総合研究所副理事長
- ・ あいちゼロカーボン推進協議会 運営委員
- ・ 名古屋大学大学院工学研究科 化学システム工学専攻
准教授 小林敬幸様

※1回目: 基調講演: ヒノキ精油を考える

講師: 名古屋大大学院生命農学研究科教授
福島和彦様

ワークショップの様子



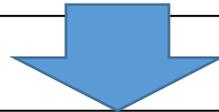
ワークショップ3回を終えて

額田の精油ブランド・匂いのブレンドを考えよう！



- ①ヒノキの精油って面白い！！
- ②葉っぱと木部の匂いと成分が違う
 - ・葉っぱの匂いは爽やか
 - ・木部は強い匂い
 - ・匂いのブレンドも面白い

精油
プロジェクト



3/30
精油体験会でプロジェクトスタート

(株) 鈴六様から頂いた精油：詳細別紙 商品化アイデアと今後の課題

アイデアと課題

①杉・ヒノキのエッセンシャルオイル

②最適なヒノキのチップで製品化

③芳香水を使用したアロマディフューザー

④ヒノキのチンキ

精油プロジェクトで対応

①場所をウルシガイツ森林で決定し機器も検討する

②チップレンタルで切削チップで最適化して検討予定

③ブレンドや品質確認などたねのしずく研究所に相談

④チンキ製作キットなどプロジェクトで検討

事業③シイタケ栽培

シイタケ栽培の情報収集と秋に親子でシイタケ狩りと焼き芋・トン汁・焼きそばを体験する収穫祭in夏山を開催した

- ・日時: 11/18(日) 10時～15時
- ・場所: 夏山町ウルシガイツ森林間伐跡地
- ・参加者: 14人



シイタケ栽培での反省と対策

- 反省
- サルの被害



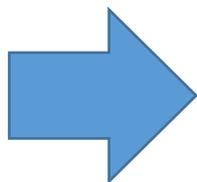
子どもが入れ猿対策も可能
全体をゴルフ場の網で囲う



事業④間伐材の出荷

現状

・・・自分たちで出荷



今回・・・ユンボ・ダンプで大量出荷



出荷実績

2022年
面積 2600m²
搬出量
木の駅PJ 85m³

自分たちで搬出

2023年
面積 6600m²
搬出量
木の駅PJ 118m³
市場 : 6m³

※ユンボとダンプで
搬出出荷
1日の数量約5倍

今後の予定

4事業で次年度地消地産事業化テーマで実践する

- ① All自然エネルギーアウトドア
- ② 額田の森の香り精油事業プロジェクトスタート
- ③ シイタケ栽培・・・猿害対策網で秋の収穫祭
- ④ 間伐材の出荷・・・委託条件で4m丸太400本搬出
同時にヒノキ市場出荷も行う